

自己評価結果公表シート（R3年度）認定こども園 長栄幼稚園

1、本年の教育目標

基本的な生活習慣を身につけ、豊かな情操を養い、健康で明るく伸び伸びとした子どもを育てる。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

コロナウイルス感染症感染拡大を防ぐことを重点的に考え、園児の安全と安心を目的とし計画を作成する。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
保育の計画性	・年間の指導計画をもとに、コロナウイルス感染を防止することを第1に考えた中で、月案・週案を作成し計画的な保育を実施する。 ・毎日、朝礼時当日の保育の確認と注意すべき内容を確認する。 ・終礼時に、その日の出来事等を報告し合い情報の共有をすることで保育に役立てる。また、毎水曜日には各クラスの様子や困りごとなどの意見を出したり協力を求めたりして園児一人ひとりにクラスを超えて細やかな対応をする。 ・昨年度の行事実施内容の検討結果から、今年度は出来るだけ実施する方向で検討した。
教育の課題	・コロナウイルス感染拡大防止のため、異年齢の交流を避け、マスクの着用・換気の回数を増やし、参観日・運動会・生活発表会・作品展等の行事を学年別に時間を分けて実施した。 ・教育目標・計画を分野別（体育遊び・お絵かき・製作・文字数字）、年齢別に検討した。
家庭・地域との連携	・毎月園日より・クラス便りを作成し、行事・うた・絵本 保育内容等をきめ細かく知らせる。 ・園の様子や個々の子ども様子を保護者に知ってもらう機会として個人懇談も随時個人懇談とし、電話や連絡帳を使って子ども様子を伝えることに努めた。 ・感染症対策として、毎日子ども様の健康状態を健康観察カードに記入してもらい、発熱や体調が優れない時は登園を控えるようにお願いした。 ・今年度も地域の行事がすべて中止となり、交流は出来なかった。
研修への参加	大阪府や大私幼の Web 研修会に積極的に参加し自己研鑽に励む。
食育と健康安全への配慮	・園児のアレルギー情報等を一覧表にまとめ、全職員が確認できるようにしている。 ・園児に対しては、事前に危険な遊び方や場所について絵カードなどを使い、分かりやすく具体的に知らせてケガを極力防ぐよう対策をしている。

	・終礼時には、園児の病気やケガの状況を報告し、安全対策に問題がないか検証している ・3歳以上の園児にはマスクの着用をお願いしたが、1・2歳児はマスクを着用しないこととする。ただ、園児の体調を常に観察して定期的なタイミングで水分補給や休息をとることに努めた。 ・さまざまな保育を設定した中で、毎月避難訓練（火災・地震）を実施して、その都度課題を話し合い実際の災害の被害に備えている。 ・三代栄養素について学んで、それぞれの食材の大切さを知りバランスの取れた食事をすることの大切さを説明している。 ・日本伝統の季節の料理を、給食や行事をとして知らせて食に興味をもってもらう。
小学校との接続	コロナウイルス感染防止のため、小学校との交流は中止となった。
子育て支援	・緊急事態宣言中は、園庭開放や自由登園をコロナウイルス感染予防のため中止した。 ・年12回のキンダーカウンセリング（子育て相談）の日を設定し、臨床心理士の先生が保護者や地域の子育て相談を受けている。 ・預かり保育の予約をアプリでできるようにし、手続きを簡素化した。 ・未就園児の親子教室を年25回3コース実施し、1.5歳児の親子体操教室を年15回実施している。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

コロナウイルス感染防止のため、年間計画に添った行事などが出来なかった。異年齢の交流など子ども同士ふれあいが出来ない状況が、子供の経験・体験不足になっている心配がある。
感染防止のため、ジアイーノの全室設置などの感染防止対策を充実させたが、園児の感染を防ぐことはできなかった。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
コロナウイルス感染防止の中で教育の展開	昨年度に引き続き、食事時の感染防止を図るため、配席を工夫し、ボードを設置し、先生と園児との距離を離す。1・2歳児は園児と先生の食事時間をずらす。 延長保育時も合同保育をせず、学年ごとの保育をすることで感染拡大を防ぐ。

6、学校関係者の評価

特になし